



## データ放送のさまざまな形

これまで、民放キー局が行っているアナログデータ放送のうち、TBS、フジテレビ、テレビ東京を紹介してきた。今回はテレビ朝日のADAMSとFM東京の「見えるラジオ」の2つを紹介しよう。

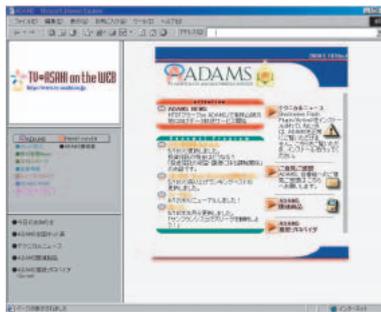
### テレビ朝日の取り組み

テレビ朝日は97年6月よりパソコン向けのデータ放送であるADAMSのサービスを開始した。ADAMSでは朝日新聞のインターネットサービスであるasahi.comの情報を中心として、スポーツ、芸能、気象情報、テレビ朝日の番組情報などを提供しているが、独立型サービスのウエイトも高い。98年の春からはテレビ朝日系列全24局でデータ放送を開始している。系列ネットワーク全体でデータ放送サービスを手がけたのは、テレビ朝日が初めてだ。

ADAMSの特徴は、データ放送の番組を制作するにあたって、ホームページを作成するのと同じ言語であるHTMLを使用することにより、データ放送の情報とインターネットの情報を簡単にリンクできるようになっていることだ。インターネットを上り回線として使用できるようになっていることから、双方向でのやり取りも可能となるわけだ。たとえば、テレビ電波を通じてパソコンに伝送された画面上で視聴者がCMの表示部分をクリックすると、そのままインターネット上のスポンサーのホームページに飛んでいき、より詳細な情報を入手できるようになっている。

ADAMS受信ボード内蔵の専用パソコンや専用ボードを接続したパソコンを受信端末としてサービスを開始したが、今ではテレビ向けや携帯端末向けなど幅広く展開している。携帯端末向けのサービスでは音声副搬送方式が使われている。

インターネットを利用して外出先からテレビ番組の録画予約ができるシステムも開発されている。携帯電話やPDAからテレビ番組表を記録した専用サイトにアクセスし、番組名をクリックすると録画予約ができるというものだ。家電やパソコン機器メーカー各社に同システムを利用したテレビやパソコンの製品化を呼び掛け、年末のサービス提供を目指している。



### FMラジオ局のデータ放送

FMラジオによるデータ放送であるFM多重放送についても見逃すことはできない。FM放送のステレオ音声信号に隣接した副音声部分を使ってデジタルデータ(音声、文字、図形など)を送信するもので、94年から本放送を開始している。

FM多重放送では、音声放送番組を聞きながら、番組に関連した情報や番組とは独立した文字情報を受信できる。また、デジタル情報を受信端末のメモリーに蓄積しておいて、必要なときに知りたい情報にアクセスできるようになっている。

FM東京では、94年10月から「見えるラジオ」の名称で、番組関連情報(放送中の曲名や演奏家名など)や、ニュース、ビジネス、スポーツ、気象、交通、エンターテインメント(占い、リスナー伝言板、タウン情報など)といった情報を、15文字×2行の液晶画面付きラジオに表示するサービスを開始し、95年からは全国FM放送協議会加盟各局もこのサービスを始めている。

エフエムジャパン(J-WAVE)でも95年10月から「アラジン」の名称で同様のサービスを開始し、NHKも96年3月からFM多重放送を始めている。財団法人道路交通情報通信システムセンターでは、96年4月より都三県を対象に、NHKのFM放送の電波を使って、道路交通情報システム(VICS)による道路交通情報などを送信するサービスを始めており、サービスエリアを順次拡大しているところだ。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)